

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠園
平塚市豊原町 23 - 14
Tel(Fax) : 0463-31-6718

隊友

湘南支部ニュース

国民と自衛隊との架け橋!



部隊研修 「防衛省市ヶ谷ツアー」 支部理事役 高鹿治雄

湘南支部は、部隊研修を令和5年9月5日(火)に実施した。昨年度に引き続き「防衛省市ヶ谷ツアー」は、防衛省企画の人数制限から当初正会員のみの募集に限定したが、応募者がやや少なかったため会員の推薦者も募集対象に拡大した。その結果、予備自衛官の大学生や自衛隊支援者の参加希望が増加し、たちまち定員20名枠はいっぱいとなった。当日は厳しい猛暑にも拘わらず部隊研修を楽しみにした19名が参加した。

昨年の部隊研修に市ヶ谷ツアーを選んだ最大の理由は、日本人として忘れてはならない戦争に纏(ま)わる「大本営地下壕跡」の見学ができるためでしたが、今年は4月から7月まで地下壕の補強と見学コース拡大工事のため、見学が中止されており防衛省への見学申込がこれまで以上に殺到する結果となった。今回湘南支部の部隊研修の予約は、実施2ヶ月前の7月の一般予約受付開始と同時に開始したが、人気の「大本営地下壕跡」の申込状況は想像以上に厳しい激戦競争で、当支部申込は2日失敗したことから3日目以降は役員総出で朝9時の受付開始を目指して電話攻勢を行い辛うじて9月5日午後湘南支部枠20名の切符を手に入れることができた。

今年の見学コースには「大本営地下壕跡」の新たな地下壕区域や「厚生棟二階に新設された広報展示室」が追加されました。そして、昨年はやや涼しくなった9月29日(木)の午後でしたが、今年は日本中が猛暑の中、9月5日(火)は東京の最高気温は34.8度と猛烈な日差しと暑さでした。千葉県隊友会所属の男性ガイドの方が、

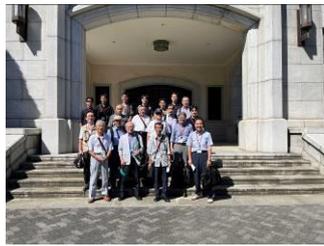
湘南支部のみなさんは大変お元気なので心配ないですが、一般の高齢者のみなさんは事前にこのツアーは約2時間で約1キロメートル歩きますと伝えてあっても、途中でギブアップされる方がいらつしやいますとガイドの苦労話もありました。当日の移動は照りつける暑さを避けて、極力日陰を歩きながら、熱中症に最大限注意して、特に体調を壊す人もなく無事終了しました。さて、お目当ての「大本営地下壕跡」と「市ヶ谷記念館」の見学については、今回参加した予備自衛官の高橋様の詳細なレポートを同時掲載させていただきますので是非そちらもご覧ください。

その代わりに今回はある役員の紹介で大学院生の高橋様をリーダーとする5人の若き大学生が当支部の部隊研修に参加してくれましたので、予備自衛官制度等を含む彼らの本研修及びその後に関わった懇親会での様子を紹介します。米国をはじめ多くの国では普段から予備役制度が充実されていますが、我が国はこれまで予備役制度そのものを整備できませんでした。近年我が国においてもこれに相当するものとして即応予備自衛官制度、予備自衛官制度、予備自衛官補制度という3つの制度(以下、「予備自衛官等制度」)を設けています。いずれも、普段は社会人や学生としてそれぞれの職業に従事しながら、一方では自衛官として必要とされる練度を維持するために訓練に応じるものです。そして、予備自衛官と即応予備自衛官は、防衛招集や災害招集などに応じて出頭し、自衛官として活動します。当支部の部隊研修はこの予備自衛官である現役の大学院生及び大学生が5名参加してくれたことはかつてないことです。いつもは還暦

を過ぎた年配者が多い集団ですが、今回はその中に我々の孫ぐらいの若人が自らの意思で将来の自衛官を目指して予備自衛官になり、充実した学生生活を送りながら、予備自衛官としての訓練にも参加しています。その若者達が大本営地下壕跡や旧陸軍士官学校の大講堂を見学し、昭和21年5月から同23年11月までの間、極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷として使われたことに若者らしい興味を持って見学する彼らの真摯な態度に接することがとても新鮮で爽やかでした。あの有名な三島由紀夫氏が自衛隊に決起を促して演説したバルコニーや乱闘時の扉の刀傷、割腹自殺した場所などを、現代の普通の若者達と一緒に共同体験できたことに感激したのは私だけではなかったと思います。今年も市ヶ谷記念館前の参加者総員の集合写真を掲載しますので、是非参加者一人一人の明るい笑顔を見てください。コロナ禍もやや落ち着いたことから、部隊研修終了後は防衛省正門近くで参加者全員による懇親会を開催し、参加者同士の交流は勿論、参加した予備自衛官の学生たちが自衛隊入隊を目指す理由やそんな彼らを見守るご家族の反応など、まる



大本営地下壕入口



市ヶ谷記念館前

で全員が家族のような気持で心温まるひと時となりました。昨年の市ヶ谷ツアー研修とはまた次元の異なる成果が実感することができましたので、来年度も幅広い参加希望者が集める防衛省市ヶ谷ツアー研修を実施したいと思います。

隊友会湘南支部 部隊研修 「防衛省市ヶ谷ツアー」に参加して 予備自衛官 高橋友登

今回参加した市ヶ谷駐屯地見学会では大本営地下壕跡、市ヶ谷記念館、厚生棟を見学しました。その中でも特に印象に残ったのが市ヶ谷記念館であり、日本の歴史の中で重要な意味を持つ建物の一つであるということを知りました。

市ヶ谷記念館は元からこの地にあつたわけではなく、初めは尾張徳川藩の上屋敷があつた市ヶ谷台に陸軍士官学校本部として建設され、第二次世界大戦後は極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷として大講堂が利用されました。GHQが何故この建物を法廷として選定したのか、そこには大きな意味があつたのだと考えずにはられません。その後も防衛庁の施設として利用された後に防衛庁本庁市ヶ谷庁舎の移転に伴い、建物の象徴的な部分を今の場所に解体・移設されたそうです。大講堂を南北入れ替えて配置するなど、コンパクトにまとめるための工夫がされており大変参考になりました。市ヶ谷記念館では旧御便殿の間、旧陸軍大臣室、大講堂を見学しました。旧御便殿の間は陛下の休憩所として建物の中でも皇居寄りに位置しており、夏場でも快適にお過ごしいただくために地下から冷たい空気を送風するなど工夫が凝らされていました。

旧陸軍大臣室は陸上自衛隊東部方面総監の執務室として使われ、かの有名な三島事件の現場にもなりました。窓からは三島由紀夫が演説したバルコニーに繋がっており、今でも三島由紀夫の背中が窓越しに見えるようでした。部屋の扉には三島由紀夫が日本刀で抵抗した際にできた刀傷が今でも生々しく残っていました。

大講堂は視覚的に広く見せるための工夫がされており、実際の面積よりも広く感じられました。私の母の高校時代の英語教師は東京裁判で通訳をしていたという話を以前聞いたことがあり、実際にこの大講堂の通訳席に座っていたのだなと実感することができました。

今回の見学会では歴史的な建造物や物品を保護する意味について考える良い機会になりましたが、特に市ヶ谷記念館では「物が残っていないければ歴史や出来事は忘れ去られてしまう。」そう強く実感しました。

湘南支部「令和5年度平塚市総合防災訓練 防災フェア」に参加

隊友会湘南支部は8月19日(土)0800～1200の平塚市総合防災訓練の「防災フェア」に参加しました。その概要についてお知らせします。

関東大震災100年事業「総合防災訓練」が平塚市総合公園で開催され、行政や各種の団体等55団体が参加、隊友会湘南支部もその一員として「防災フェア」の部に参加しました。

当日は、朝から猛烈な暑さでありその中で湘南支部用のテントの展張、展示品等の準備を行いフェア開催に臨みました。

今回の参加者は、支部長清崎、荻原防災担当主任、小見山防災担当、喜瀬理事役(特別会員)、そして特別会員として支部入会間もない中根さん及び栗田さんの計6名の参加で支部としての展示、説明また隊友会のPRとし

て次の展示等を実施しました。

今回は、中根さん、栗田さんによる浄水装置の展示・説明及び実演、荻原担当主任の液化実験の展示、防災用品の展示等、また小見山担当による隊友会のパンフレットの配布等を行い平塚市民の隊友会湘南支部の理解、PRに努めました。また今回も喜瀬写真長による写真も貴重な記録となりました。なお、今回は猛暑のためか見学者は昨年より少ない感じでしたが隊友会のパンフレットは50部配布出来ました。



液化化実験の様子



浄化装置実演の様子

本防災フェアに参加している目的は、隊友会の存在とその理解を狙っていますが、平塚市との防災協定の話が今後出ることを期待しています。荻原担当主任は9月15日から3回目のパニアニューギニア遺骨収集団の隊友会からの一員として参加していますので支部長が本記事を担当しました。

令和5年度安全保障トークサロンの開催

第6回 湘南支部・西湘支部 共催安全保障トークサロンを左記により開催致します。

1. 日時 令和5年11月11日(土) 1400～1530(受付1330)
2. 会場 藤沢商工会議所「ミナパーク」 3階 会議室
3. 講師 荻原洋聡氏(当支部理事役) 榎エヌ・ワイ・ケイ参事

(JR藤沢駅北口から北へ徒歩約3分) 日本地震予知学会会員

4. 演題「パプアニューギニアからの便り」(戦没者遺骨収集 現地調査に参加して)

5. 意見交換会(懇親会) 参加を希望される方は、10月27日までに左記の問合せ先に、ご連絡下さい。別途細部をご案内致します。

※問合せ先… 支部理事役 高鹿(コウロク) 治雄 携帯番号：090-1133-0252 メール：kohroku@fokumeikan-t.com.net

当支部の防災担当理事役の荻原洋聡氏が令和4年度(第5次)及び令和5年度(第2次)東部ニューギニア(パプアニューギニア)戦没者遺骨収集 現地調査に隊友会の代表として参加しましたので、その貴重な体験談を含め派遣に至った背景・経緯から、厚労省戦没者遺骨収集の意義などをお話ししてもらいます。

本トークサロンにおきまして皆様方の積極的なご参加により、当安全保障トークサロンの目的であります参加者相互の活発な意見交換を期待しております。(担当理事役高鹿治雄)

「第45回 神奈川自衛隊音楽まつり 2024」協賛のお願い

今年度末(令和6年3月)陸海空各自衛隊に入隊、防衛大学校等へ入校予定の皆さんを激励する「第45回 神奈川自衛隊音楽まつり2024」を湘南支部も応援します。

近く「音楽まつり協賛のお願い」を会員各位へお送りしますのでご協力をよろしくお願いいたします。(支部長)



支部特別会員 木村俊雄氏 寒川町長に再選

任期満了に伴う寒川町長選挙は8月27日投票が行われ、現職の木村俊雄氏が再選を果たされました。

木村俊雄氏は、湘南支部の特別(個人)会員であり、湘南支部としまして心からご祝辞申し上げ、引き続き寒川町政の舵取り役として大いなる活躍を祈念いたします。併せて今後とも湘南支部の特別(個人)会員としてご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。(支部長 清崎忠園)

令和5年度年会費納入者(順不同・敬称略)

湘南支部長(九月二十一日現在) 次の会員各位から年度会費を納入していただきました。ご協力に感謝申し上げます。

正会員

相馬孝良(7月納入)、松村昭男、菅原政弘、

支部会員の計報

謹んでご冥福をお祈り致します

正会員 故 原田 勝夫 氏 令和5年9月8日 ご逝去

「支部の予定」

- 10/07(土) 第7回支部理事会
- 10/23(月) 10月隊友紙発送
- 11/04(土) 第8回支部理事会
- 11/11(土) 安全保障トークサロン
- 11/22(水) 11月隊友紙発送
- 12/09(土) 第9回支部理事会
- 12/月上旬 広報官慰労・激励会

編集後記

今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。